



## ふっこう訓練通信

令和8年3月／発行：葛飾区都市整備部都市計画課（担当：田上・山本・石塚）／電話：03-5654-8382

## 第3回 西水元地区震災復興まちづくり訓練を実施しました！

2月7日（土）14時から「西水元地区 震災復興まちづくり訓練 第3回訓練」を開催しました。

ふっこう訓練通信第3号では、「第3回訓練」の様子をお伝えします！

当日の資料などは、区のホームページでご覧いただけます。

トップページ&gt;くらし・手続き&gt;安心・安全&gt;防災・国民保護&gt;震災復興まちづくり訓練について

ホームページへの  
アクセス  
はこちらから

## 第3回訓練（令和8年2月7日）「被災後の『都市』の復興を考えよう」の概要



第3回訓練では、地域の方々9名にご参加いただき、訓練用の「西水元地区の被害想定」の確認後、「①被災後の「都市」の復興を考えよう」、「②『震災復興の進め方』をまとめよう」について、参加者が2班に分かれ、グループワークで話し合いました。グループワークでの主な意見は以下をご覧ください。

## 第3回訓練の内容

- (1) 第2回訓練の振り返り
- (2) 西水元地区の訓練用被害想定
- (3) グループワーク①〈被災後の「都市」の復興を考えよう〉
- (4) グループワーク②〈震災復興の進め方〉をまとめよう
- (5) 発表
- (6) 解説 東京都立大学 中林 一樹 名誉教授

## (1) グループワーク①〈被災後の「都市」の復興を考えよう〉

西水元地区の町会長になった想定で、「復興まちづくり方針」について、ワークシートの選択肢から選び、選んだ理由を意見交換しました。

## 選んだ理由（※番号は右グラフの選択肢に対応しています）

## 【選択肢一覧】

- ①安心できる住まいの確保 ②安全・安心な市街地の再生 ③公園の整備・拡充  
④道路ネットワークの構築 ⑤魅力ある商業拠点、商店街の形成 ⑥若者も高齢者も住みやすいまちの形成 ⑦その他

## ①西水元は、ある程度道路が整っており、駅前でもないため、生活し続けるには住まいが重要。

①「⑥若者も高齢者も住みやすいまちの形成」を実現させるためにも、住宅の建築制度の緩和等を含め、子育て世代が戻ってきたいと思える支援策が必要。

②木造住宅が密集する場所での延焼の危険性を考えると、安全の確保が重要となる。

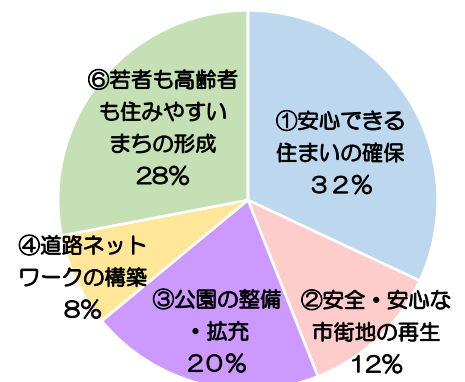
③他地区より公園や空地は多いため、防災拠点化して活用したい。

④道路ネットワークは基本的に整っている地区であるため、道路整備の優先順位は低いが、復興するにあたり道路のバリアフリー化などについては取り組みたい。

⑥地区を一度離れた若者が（実家などへ）戻って来るようになることが、一番の課題。これは現在でもすでに地域の課題であり、町会の若い担い手も不足している。

⑥福祉施設や高齢者施設が多いので、障がい者や車いすでも移動しやすくする必要があります。

※ 部分は西水元地区の特徴を表す意見。



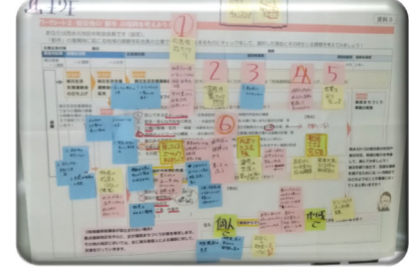
## (2) グループワーク② 〈「震災復興の進め方」をまとめよう〉

**STEP1** 復興までに必要だと思う都市機能について、意見交換しました。主な意見は以下の通りです。

仮設店舗	被災後は、遠くへ買い物に出ることが難しくなるため、出前商店街などの取組はありがたい。ただし、誰が担うのかという担い手の問題がある。
仮設の集会施設	物資の配給等をスムーズに行えるよう、1階を仮設店舗、2階を仮設集会所とする施設があるとよい。



↑グループワークの様子



↑グループワークの結果

**STEP2** 平時からできる取組について、意見交換しました。主な意見は以下の通りです。

- ・避難場所や、仮設住宅用地として農地をいのように協定の締結を積極的に進められるとよい。
- ・地区センターなどに、転入してきた若者や被災後に地域へ戻って来ることを希望する人に向けた相談窓口を設置する。
- ・町会に入っていない人たちと連携するため、掲示板でイベントがわかるように周知し、コミュニケーションの入口にする。
- ・防災倉庫の点検を毎月1回、地域全体での防災訓練は年1回行っており、今後も継続をはかる。

### (3) 解説 東京都立大学 中林 一樹 名誉教授

- ・復興には、「被災者」と「被災地」それぞれ事前に備えることが重要です。  
被災者の備え → 第一に地震保険への加入、そして自宅の耐震化。  
被災地の備え → 地域コミュニティ活動の活性化。
- ・災害は何の前触れもなく、ある日突然襲ってきます。地震でも水害でも**命を守る基本は自助**です。
- ・共助とは、一人ひとりの自助の結晶です。**誰ひとり取り残さない防災は、地域の自助の結晶**です。



被災時の被害を減らすことができれば、「復興」でなく「復旧」で済み、まちも住民の生活も継続できます。**究極の事前復興は「西水元地区を復旧で済ませるまことにすること」**ではないでしょうか。

### 震災復興の進め方とは

震災復興の進め方は、西水元地区震災復興まちづくり訓練の成果や**西水元地区の震災復興手順**等をまとめたものです。

大規模な震災などがあった場合には、**震災復興の進め方をたたき台として、地域のみなさんと葛飾区が協働して復興を進めていく**ことになりますので、**内容をご確認いただき、ご自宅で保管していただくようお願いいたします。**



#### 【目次】

- ・はじめに
- ・被害想定について
- ・西水元地区の復興の資源と課題
- ・西水元地区の震災復興手順
- ・(コラム) 発災後の避難行動と仮住まい
- ・(コラム) 液状化被害への対応と建築時の助成
- ・普段からできる取組をチェック!